

○西田昌司君 この内需拡大を進めていく上で、特に重要なのは新幹線ネットワークの整備です。現在、工事着工済みの整備新幹線に加え、山陰や四国など全国津々浦々まで新幹線ネットワークを広げるべきだと私は考えています。中央リニア新幹線を東京—名古屋間だけではなく大阪まで同時に開業させる。さらに、新幹線を関西国際空港までつなぐ。この結果、東京から関西までが巨大な経済地域として一体的に発展できます。

○内閣総理大臣(安倍晋三君) また、平成二十八年度第二次補正予算においては、未来への投資を実現するため、低金利環境を生かし、財政投融资を活用することで、リニア中央新幹線の全線開業を前倒しする、外国人観光客四千万人時代に向け、大型クルーズ船の受入れ環境を改善するなど、機動的な対応を行ったところです。さらに、来年度予算においても、科学技術振興費を伸ばすとともに、公共事業関係費の成長分野への重点化を行うなど、予算の中身を大胆に重点化し、効果的な財政出動を行っております。

(中略)

新幹線ネットワークの整備についてお尋ねがありました。

新幹線は、東京オリンピックの年に開業して以来、五十年余りにわたって我が国の経済や国民生活の発展を支えてきました。安全性や信頼性、環境面に非常に優れた交通機関であり、観光やビジネスなど地方創生にも重要な役割を果たすものです。

一昨年、北陸新幹線が、昨年は北海道新幹線が開業し、地域に大きな活力をもたらしました。利便性の高い新幹線ネットワークを早期に構築していくことにより、その効果を最大限発揮させていくことが必要です。

このため、整備新幹線について、札幌や敦賀、長崎へと整備を着実に推進するとともに、敦賀—大阪間のルートを決し、財源の確保を行うことで整備計画路線の確実な整備にめどを立ててまいります。また、リニア中央新幹線について、財投の活用により、大阪までの全線開業を最大八年間前倒しし、整備効果を早期に発現してまいります。

さらに、新幹線ネットワークの更なる拡充に関しては、基本計画路線を含む幹線鉄道ネットワーク等の在り方の検討に必要な様々な課題について、国土交通省において調査を行うこととしております。

リニアと新幹線による高速鉄道ネットワークを軸に、東京や大阪、名古屋がハブとなって、日本全国、北から南まで、地方と地方をつないでいく。地方創生回廊をつくり

上げ、全国を一つの経済圏に統合することで地方に成長のチャンスを生み出していきます。